

## 小学校高学年の部

### 優良賞

#### 「沖縄へ観光客を」

沖縄アミークスインターナショナル6年生 城間 泰奨

「えーこれに入るの？」

金武町の田んぼフェスタの会場を見て思わず口からでた言葉です。

さあ、友達と今から田んぼの中で遊ぼう、と最初に足を入れた瞬間

「ぐちょ」

田んぼに足がすいこまれていく感じがしました。はじめは少し変な感じがしたけれど、そのあとからなれてきて、田んぼの中で鬼ごっこをしたり、どろを持って友達にぬりつけたりして時間を忘れて遊び続けました。

帰るころにはぼくたちはすっかりどろまみれ。けれど心はすっきりしていました。

「田んぼって米を育てるほかに、こんなに楽しく遊ぶこともできるんだ。」

沖縄の平成24年の観光客数は、約592万人で、去年より約40万人増えています。これから600万人に増やすにはどうしたらいいのでしょうか。

ぼくの沖縄の一番のオススメは自然です。とくに沖縄北部のヤンバルの自然がオススメです。ヤンバルに行くと、いらいらしていた気持ちもなぜかやわらいでいくからです。

去年の宿泊学習で、僕たちは国頭でサバイバルキャンプをしました。テントを張ったり川登りをしたり。がけから縄なしバンジーのような体験もでき、勇気の大切さを学びました。その経験から、僕は国頭にある自然の美しさを更に体感することが出来ました。

でも、国頭は遠いです。国頭のような沖縄のきれいな自然を見に行くために

は、観光客はレンタカーがないといけないのが現状です。それならば、バスの運行数を国頭にふやしたらどうでしょうか。僕が好きな沖縄の自然を観光客にもぜひ好きになってほしいのです。

だけど忘れてほしくないのは、便利さだけを考えてビルなどをつくっていくのではなく、もっと自然を大切にしながら観光客数をふやす方法を考えていかなければならないという事です。

そのためにぼくは一つ案を考えました。自分たちの力で日のあたる場所を探してテントをたてたり、ゆうごはんを作る等の自然活動ができる観光プランを増やす、というのはどうでしょうか。

そういったことを体験していく中で、自然の中で自分の知らない自分を発見しながら成長することができると思うのです。

このような体験プランを観光に入れ、沖縄でしか体験できない独自の観光プランを作ることで、沖縄らしさを全面に出したオリジナルの観光を作ることができ、観光客が更に増えることが期待できると思います。また、祭りを毎月開催する事も観光増加につながると思います。例えば宜野湾では四月に日本一はやい花火祭りがあるように、沖縄らしい祭りを増やしていけば、年間を通して観光客も多く来るようになるかもしれません。

田んぼで遊び、心がすっきりしたあの日のぼくのように、沖縄を訪れた観光客にも素晴らしい沖縄の自然にふれ、いやされてほしいと強く願います。